



## ゴミ箱ちゃん

---

ゴミ箱ちゃん！

ゴミ箱ちゃん

私は貴女といいお友達といままで思ってたわよ

なのに、どうして私の側に居なかったの？

あれ？それ？

そんな事、急にゴミ箱の私に言われても

解釈も理解も出来ないわ

このゴミ箱の私に解るように丁寧に説明してくれる？

あら？解らないの？

じゃ～説明するよ

私はゴミ箱の兄弟や姉妹を部屋や台所,居間などにおいているよ。

物を捨てたいために置いてるよ

今日は火曜日なのよ

明日の水曜日の朝にゴミ取り屋さんが

大きなトラックで来るのね。

だから、前日の夜には道路に

ゴミを入れた箱を出して置きたいのね

それで、火曜日は部屋中のゴミ箱ちゃん達の中からゴミを集めるのよね。

今朝、私のベッドルームに置いてあったゴミ箱ちゃんが見つからないのよ。

あっち、こっちと探したわ

いつも、ベッドの直ぐ側にいたじゃない。。

私の手の届き易い所にね。

でも、ずっと探しても見つからなかったわ。

結局、時間を掛けて私の両手のお手手ちゃん達が

貴女を見つけたわ

その時、貴女は寝ていたわよ

もう、朝の11時よ

とっくに起きている時間よ。

え～？あの？

ちょっとお尋ねしていいですか？

何？いいわよ

あのさ。。私ってゴミ箱よね？

そうよ

でしょう？

そんなゴミ箱に対して寝ていたとか。。

全然、理解できないよ。

私達は人間達のいらなくなった物を入れる為の箱よね

片付け易い様に、便利やさんよね

その私達に対して求める事が余にも偉大すぎないかい？

普段、私達は人間達が使わない、食べない物を

なんの文句も言わずに受け入れて来たわよね。

時々は嫌な臭いの物とか

まだ、食べれるのにほかしたりさ

まだ、着れそうな服とか

使えそうな機械類とかね

言ったらきりが無いほどあるよ

だけど、私達は勿体無いなあと思いながら

泣く泣くゴミの引き取り役をしてきたよね。

この地球上のゴミの嘆きを聞いた事がありますか？

それはそれは悲しい歴史ですよ。

それに耐えながらも何とかこの地球に良い物を残そうと

出来るだけ自然に戻そうと自分達が精を出してバクテリアーを産んで

やさしい土に戻しているのよ。

それを手助けしてるのがゴミ箱よ

あまりゴミ箱をいい風には評価してはくれないけど

私達はそれなりの役目を引き受けてゴミ箱として

この世に使命を受けて頑張っているよ

ふむふむ

あ～そうだったのね

ごめん、ごめん

そんな素晴らしい事をしていたんだと知らなかったから。。

つい、私の我がままを言ってしまったわ。。

反省、、ちょっとだけね。。

あら？そのちょっとだけとは何よ？

いや ね 自分の事を弁解する訳では無いけど

失明していると見付けにくいことがストレスになって

イライラするのね。だから、自分勝手になって

知らぬまにゴミ箱ちゃんを私の足が蹴っ飛ばしたのね

だから、ゴミ箱ちゃんが転がって横になっていて

見つけられなかったわけね

ごめんね、、

でも、お陰でとてもいいお話を聞かせて頂いたわ  
今からはもっとゴミ箱の存在や意義に注目していくよ  
そうかい、そうしてもらおううれしいね  
お友達にも私たちゴミ箱の嘆きを話してね  
余り物を捨てない  
工夫とかやり繰りを考えてね ってね。  
貴女にお願いするよ。。いいね  
よく解ったわ  
私が理解したから大丈夫よ  
会う人、全ての人に伝えていくわね  
ゴミ箱ちゃん ありがとう！

口は一つでも

---

口は一つでも

ある夕食の事ですよ

風邪を引いて直ったと思っても

微熱が続くので思い切り飲み物を飲んで直そうとしました。

まず、お水を飲み

それに暖かいお茶ね

そしてオレンジジュース

気分を良くする為に透明なソーダー

最後に赤ワインですよ

全部テーブルの上に並べ

夕食のサラダ、チキンヌードルスープ、サーモン

チーズにクラッカー

煮豆さん、クルミの佃煮、たくあん

色々と食べながら、それぞれの飲み物を飲みました。

欲張りの様ですが。。水分を取る為に楽しみました。

その時に思いました。

口は一つよね

でも色んな食べ物や飲み物を食べたり、飲んだりと

凄いと思いませんか？

口は一つでも色んな物の味を味わってくれるのよ

凄いよね、何種類も受け入れてくれるのよ

また、歯は噛み砕き

舌は食べ物を動かして喉へと運んでくれるね

それも一つの口の中でよ

もの凄い機械だと思わない？

いつもはそう思わなかったわ

でも、今日は欲張って何種類の飲み物を全て飲み

この素晴らしさが解ったのよね

そして口って話す為には必要よね

絶対にね

ふ〜ん 考えれば考えるほどに

一つの口の果たしている役目の素晴らしさ

改めて思いました。

これも微熱さんのお陰ね

微熱さんは只の厄介ものでは無くなったわ

と思いながら飲み物を取り続けていると

私の微熱さんはサヨナラと去って行きました。

これも一つの口さんのお陰ですね

ありがとう！

## 足を痛めた木々さん

---

足を痛めた木々さん

な～に、それ？

足を傷めた木々さん、って。。

何だか木に対して失礼な言い方だと思うよ。

あ、そうか、ごめん。

つい、私の足がいつまでも痛むから

そう言いたくなったのよ。

果物の木を植えるためにスコップで穴を掘って

足の裏を使い過ぎたからね。。

それも5本分も掘っては傷めるよね。

作業用の靴ははいていたの？

いや

それは傷めるよね。

5本分も掘っては足の裏が可哀想だよ。。

足を傷めた木々さん、、って言っていた貴女！

自分の欲張りで足を傷めて

いつまでも痛みが引かないからと言って

木のせいにしては本当に木に対して失礼だったね。

何の為にその木を植えたの？

それは、果物が大好きだからよ。

果物がたくさん取れたら良いなって思ったからよ。

なら、貴女の欲の為に果物の木は植えられたわけね。

そう。。

それなら、足を傷めたけど、その木に感謝を込めないと

美味しい果物は出来ないわよ。

なるほど、、心を込めないと

ただ植えたら果物が実る訳ではないんだね

それに、足が痛む度に

あの果物の木を植えたために痛むって

つい言っていた、、

果物の木々さんはそれを聴いていたんだね

それはそれは大変に申し分けなかったわ

果物の木々さん、今まで本当にゴメンなさいね

私って他にもこんな事があるような気がするわ

つい、家族とかお友達に素直に言っていた  
聞く人の身になれば、  
きつかったり、嫌な事だったかもしれないね  
う～ん、もしかして足の痛みって  
この事を私に気づいて欲しかったのね  
ならば、足の痛みに感謝して  
果物の木々に感謝せねばね  
そして、周りの家族や友人にもね  
神様の教えって直接にくるばかりでなく  
こうして遠回りして心や体を痛ませて教えて頂くんですね  
解りました、神様！有難うございました。

## 小は大を超す

---

### 小は大を超す

ある日の事です。

娘が17ヶ月の孫娘を連れて里帰りして来ました。

孫娘はとても暴れん坊なのでよく動き回り

猫達がびっくりして

とても大人しく、静かにしてます

いままでは、餌をくれというばかりに

ガザガザと音を立てて

好き勝手にしてました。

しかし、この小さな孫娘が来てからは

部屋にかくれたり

餌の時間になっても静かで

猫の存在を忘れるほどです。。

猫にとっては大きな大人より怖いのかしら？

どうしてでしょうか？

猫に取っては

体は小さくても何をしでかすかわからない

予測ができない動きをするから？

いや、いや。。違うよ

子供の方が大人より純粋で真っ直ぐだからだよ

だから怖いんだよ

大人は大人なりの常識で行動をするけど

小さい子供は怖さを知らずに尻尾をひっぱたり

動くおもちゃと思って触りまくったり

追いかけてたりね

噛まれる怖さを知らない

だから、平気でいる行動が

猫にとっては怖いだよ

小さくても大人を超えることがあるね

小は大を越える ってね

コロコロ 何の音なの？

---

コロコロ 何の音なの？

それは石ころの音ですよ

我が家に石ころを拾って床に落としたり

また、小さい箱に入れてガチャガチャと振って遊んでいる

可愛い小さな女の子がいます。

あら？貴方にそんな小な子がいたの？

いえいえ、遠い街から飛行機に乗って

娘が孫を連れて来たのです。

その子が来るまでは

この石ころの庭は二飼の通路に静かにしてました。

誰かが遊んでくれる事もなく

ただ、そっと動きもせずにはいました。

それが毎日のように飽きる事なく

寝て起きては石ころをゴロゴロと

小さな手で握ったり、落としたり

また、投げたりと

こんなに楽しそうに石ころと

仲良しさんになった子はいなかった

きっと、石ころさんも嬉しかったのね

だから、ゴロゴロと音を立てたんだね。

猫も嬉しい時にのどをゴロゴロと音を立てるね

それと一緒に。。ゴロゴロ

## アイスクリームのかくれんぼ

---

ね！ね！どうして隠れるの？

暑い夏には最高よ

あなた、誰に話してるの？

私は冷凍庫よ

ごめん、ごめん！

私の大好きなアイスクリームによ

え！！アイスクリームに？

そそ。。最近よく隠れるのよ

冷凍庫の中にあるはずなのにね

よく探したの？

探したわよ

じゃ～みんな食べたのでは？

いや、最近買って入れたばかりよ

それは、おかしいわね

冷凍庫の私では解決できないから

やっぱしアイスクリームに呼びかけるといいね

わかったわ

もう一度聞いてみるわね

ね、アイスクリームさん！

どこへ隠れたの？

ね、返事して！

お願いだから

アイアイ スクリームは ここよ！

あ～そこにいたの？

よかった！

じゃ～ ひとつ頂きますよ。

あれ！消えちゃった！

どうして？

アイアイ、それは貴女の為よ

え～私の為だって？

私はアイスクリームが食べたいのよ

アイアイ、貴女は糖分の取りすぎよ

それにね

貴女の体温より低い温度の飲み物や食べ物は

体に害なのよ

だから、アイアイは隠れるのよ

あら、本当なの？

私の健康の為に隠れてくれたのね

ありがとう！

今からは気をつけるわ

食事のバランス、カロリーのチェックね

お砂糖や塩、油の取りすぎが病気の原因だってね

適度な運動をしたら適度な量は食べてもいいね。

アイアイ、そうですよ

じゃ、アイスクリームさんをお願いがあるわ

何？

あのさ、あなたは隠れたりできるから

私の調子を見てそれに相応わしい量に

アイスクリームを小さくしたり、大きくしたりできるよね？

もちろんだよ

それはいいね

いまから私、頑張るから宜しくね

アイアイ、了解よ

私たちアイスクリームはただ冷たく、甘いだけじゃないわよ

食べる側にとって相応わしい食べ物として進化するわよ

それは食べる側の努力に応じて進化はできるよ

それでいいわよ

なんだか アイスクリームって偉大だね

アイスって愛するって感じでね

私はずっとアイスクリームと一緒によ

## 動かないで

---

ね、お願いだから動かないで  
貴女、誰に言っているの？  
貴女よ。ロッキングチェアの  
私に？ 動くのが仕事の私に言っているのね  
そうよ  
あら、ま。。  
それは困ったわね  
昔の人がゆっくりと揺れるイスを考えた時は  
世の人々が驚いて感動したものよ  
なのに、貴女は動かないでとおっしゃるのね  
どうして、動いちゃだめなの？  
今、動かれると困るのよ  
どう困るの  
今ね、必死に針に糸を通してのよ  
私のお目々ちゃんは見えづらいのよ  
だから、必死に針の穴を見つけては  
細い糸を通そうと狙っているわけね  
だから、動かされては困るの  
それはわかるけど。。  
なぜ、動くロッキングチェアに座ってるの  
動かない椅子に座れば問題ないのに  
どうして？  
どうして？って言われても。。  
そこに有ったからよ  
あ、、そう。  
それは貴女の単なるわがままね。  
へーこれ、わがままなの？  
はい、それは立派なわがままです  
あら、そんなにはっきり立派なんて言ったら  
わがままさんが喜ぶね  
それは貴女の勘違いよ  
わがままってね  
生まれた時の純粋な気持ちをそのままってことよ。  
いい気持ち、いい行いのそのものをいうのよ。  
もし、悪い気持を出す時には？

ま、どうしても悪いことを言わざる得ない時は  
言った後で理由を説明して ごめんなさいって  
はっきりと素直に言えばいいわよ

そうか、わかりやすいね

以外と貴女は素直ね

それに免じて動かないようにするから

早く針に糸を通しなさい

おけ～

通せますようにと祈りながら静かにしてると

スッと糸が通せました。

これって、動かなでって言うのは

糸を通そうとする私の心を穏やかに

聖なる気持ちでいなさいってことなのね

何事も怒ったり、嘆いたりしてはうまいかないってことね

なんだか動くロッキングチェアに教えられたわ

ありがとう！

## 花の妖精

---

暑い夏の盛り、7月末

久しぶりに沖縄の歌が聴きたいと

色々と聴いていると『イラヨイ月夜浜』の歌が流れ、  
素朴な島の浜辺に咲く花が目には浮かんできました。

とくに ♪百合のような花♪と歌っていた時に

『花』う～ん、そそ花」そのものが『妖精』だと思いました。

そうか、妖精さんは色んな花にいるのね

だから、美しく咲いているんだね

『花の妖精』さんは私達を癒して励ます為に

と考えると、なんって素敵なことだろうと体が震えました。

私は野生の草花がとても大好きで可愛い、愛おしいです。

だから、この感動を和紙で『花の妖精』を作る事にしました。

マネキンに和紙の色糸で編んだドレスを着せて

和紙で作った花をたっぷりに胸やスカートの下に取り付け

頭にも、たぶん、こんな感じかなあと花々を思いきり飾りました。

今まで見たことのない素敵さで満足です。

展示する時には説明書をそえました。

「花の妖精」さんは

草花のいたるところにいます。

見る貴女がとても幸せな気分にいる時

つまり、花を眺めている貴女が何事にも感謝してる時

貴女は花の妖精さんにお会いできますよ。

もし、花を眺めてる貴女が怒っていたり

悲しんでいると折角、貴女のすぐ側に

花の妖精さんがいるのに見えないのです。

もし、意識して花の妖精さんにお会いしたいなら

ゆっくり深呼吸を2、3度してから

昼間は目を少し開けて見ると小さな羽をヒラヒラしますよ。

夕暮れの時も同じように少し目を開けて見ると

キラキラと光ってますよ

花の妖精さんがそこに居るんだと強く確信することが必要です。

どうぞ、お試してくださいね。

きっと、貴女も花の妖精さんにお会いできますよ。

幸せな気分にいるとみえやすいですね。

もし、見えることができたならその時の気持ちを忘れずに  
常に明るく楽天的、つまり素朴な喜びを感じる癖をつけておけば  
もう、あなたは毎日が幸せ者ですね。  
その幸せな姿が他人から見れば花のように見えるはずですよ。  
貴女も花の妖精の仲間ですね。  
あ、ウキウキしてきたね。。

## 頭って偉大だね

---

私は和紙で植物を作って多くの人に触ってもらって自然の大切さを訴えています。

ある日の事です。

和紙で作ったバナナの植物を修理するために幹と上部（葉っぱとバナナの実）を離しました。

おっと！上部の無い幹を見ると

とても物足りません

その時に思いました。

人間の頭がない首から下だけの人間では

完全に物足りない人になるね。

って思うと神様はどんなに素晴らしく私達を作って下さったのかと

まじまじと上部のないバナナの幹を見て思いました。

よく、職人の世界では頭は誰だとか

あの頭（責任者）がいるから大丈夫だとか言っていた事がありますね。

頭って、みんなから信用と信頼を得た者よね。

魚でも頭（かしら）付きとか

お祭りの時の神輿の頭とかね。。

大事なものを頭（かしら）って言うようになったのは。。

といろいろと考えると」自分の顔、

頭の存在を見直しました。

その大事な存在の顔や頭の評価を

落とさない様にしなければ

いけないと思いました。

本当に頭の存在に頭が下がります。

だから、日本人は頭をペコペコと下げて挨拶をする

それが相手を尊ぶ姿勢として受け継がれてるのね

改めて日本の礼儀に感動しました。

ありがとう！

なんって失礼な ね！

---

ある天気の良い午後に庭仕事をしました。

隣との境にムクゲの木をたくさん植えてあります。

大雨が降り続けると我が家の裏庭へ水がワンサカと流れます。

将来的に困るので

今日は境に溝を掘るぞ。。とせっせと

必死に動きながらやっていた時です。

痛〜い！

ムクゲの枝が目思い切り突いたのです。

痛い、痛いと手で目を覆いました。

いや〜、、とても痛かった。

その時です。。。

『いや、、どうせ見づらい、機能してない目だから

手当をせずともいいや』と誤ってしまいました。

でも、思った瞬間になんって目に対して

失礼な。。ね

役に立たないから どうでもいいやって思った。

なんって危険なことでしょう。

あなたは何かを諦めていませんか？

わからないから

お金がないから

忙しいから

難しいから

どうせ無理だから。。。

などなどと理由をつけてませんか？

私のお目目ちゃん、、ごめんなさいね

役立たずとつい言ってしまって

見づらくっても役に立ってますよ

かすかに見えてるだけでも

世の中には生まれながらにして見えない方もいますから

まだまだ幸運ですよ

iPS細胞の研究も頑張ってますからね

この世に役立たず、

無駄なものは

何ひとつとして存在しないって

よく言われてますね

だから、お目々ちゃん本当にごめんなさいね

一緒にいつもでも頑張りましょうね。

## ニラの花さん

---

### ニラの花さん

ニラの卵とじはとても美味しいですね。

また、韓国風に小麦粉とニラをたっぷり混ぜて  
焼き上げ酢醤油で食べると美味しくって元気がでますね。  
夏には最高です。

このニラは9月になると細長い茎を天に長く伸ばして  
細かい白い花をたくさんつけます。

ニラにしては意外と神秘的な可憐な花を咲かせますよ  
あら！！まあ、、意外とは失礼ね

私たちニラは細かい細い野菜ですよ。

それに、細い芯に小さい花をたくさんつけるのよ  
それにね、白い花は神様からの贈り物ですよ  
だから神秘的に感じるのね  
食べると元気もでるのね。

わかった！

ニラさんは

真夏の暑さの中でも頑張っている人を  
元気つけて癒す為に  
神様から授けて頂いた貴重な物なのね  
ま、ワンダフルです。。

美味しいと思う時は感謝するわ

ありがとう！ニラ様！

きっと、そうだと思いますよ

今度から

。 ; ; / ; ;

## なんですぐ血が出るの？

---

ね！不思議だと思わない？

怪我をするとすぐに血が出てくるね。

どうしてだと思う？

私はおちょこちょいです。

そして、目が不自由です。

だから、よく怪我をします。

何度もバントエイドで手当てをします。

ある日、なんですぐに血が出てくるんだよ

と言ってしまいました。

すると、

何でって 言われても

それはそれだけ細やかに体の中を血管で張り巡らせて

あなたを守り生かしているのよ

と怪我をした指が答えました。

なるほどね。。

体の中を細やかに張り巡らせて

必要な栄養や酸素を運んでいるものね

だから、生きていられるんだね。

もっと大事なことはね

何？なに？

それはね血がすぐ出るのはね

貴女の体は生物ですよってことよ

貴女の取る食事が体に悪いものだど血管の中が濁ってくるね

そして、流れも悪くなり病気になってくるね。

川だって綺麗な水ならサラサラと流れてるね

その川に油とか薬などを流し続けると濁ってきて

流れがゆっくりと川が無理してますよって教えてくれるよね。

それと同じだよ。。

へーなるほどね。

なら、怪我をして直ぐ血がでるのでって

小言を言ってはいけませんね。

出血をする時はその大事な事を気づかしているんだね

よくわかったわ

そう思えば、もっと注意を払って怪我をしないように

する事が大事ね

気を付けるわね

教えてくれてありがとう！

## お手手ちゃんお願いね

---

ね、お手手ちゃん！

もっと動いてね

あら、私達はいつもよく動いているわよ

なのに、もっと働けて言うの？

そうよ

どうして？

だって、お目々ちゃんが休んでいるもの

物が何処にあるのか解らないわ

だから、お手手ちゃんがお目々ちゃんの代わりに

もっと動いてくれると助かるのよ

そっか、お目々ちゃんは働けないのね

それじゃ～仕方ないわね

こんな時はお互いに助け合わないとね

もっと頑張るわ

本当に助かるわ

いいわよ

お手手ちゃん お願いね！

ありがとう！！

## 私はまだ未だ

---

私は未だ未だ

私は世間で言われる『落ち込む』という事はありません

だから、未だ未だなんだと思ったら

例えこれ以上見えなくなっても

冷蔵庫の中の物が探せなくとも

クローゼットの服を探せず

以前のようにオシャレができずとも

大好きな料理も以前の様には作れずとも

夕暮れの早い秋は見え難くとも

寒い冬でもめげません

だって、私はには可能性が残ってるから

工夫をする事、試してみるこなど

まだまだ山の様に残っているからです

だから、私は未だ、未だなんです。

時間の余裕、心の余裕が

未だ、未だ

だから、未だ幸せなんです。

ありがとう！

## ダイニングテーブル（食卓）

---

ダイニングテーブルって

最近は食卓って呼ばなくなったね

皆さんはその食卓で家族が集まって食事をしてますか？

子供が小さい頃は家族そろって食べていたけど

大きくなってからはバラバラに食べる事が多いとか

多くの方が答えています。

ちょっと悲しいと思いませんか？

仕方がないのかな？

昔は各部屋に机もなかったから

誰でも食卓で宿題をしたり何かと使ってたね

だから、お母さんが食事を作っている側で

匂いをかきながら、おしゃべりをしながら待っていたね。

お母さんも料理をしながら子供の話を聞き

宿題を教えていたね。

その時に親は子供の様子を伺う事ができたね。

しかし、子供部屋ができてからは

子供は自分の部屋で宿題をする事になり

親の目が届かなくなったね

それゆえに子供の悩みや問題を知る事が遅くなりがちですね

子供も親の目が届かないと好きな事をしだすね

せめて、食事の時は食卓で集まって

今日の予定とか今日、起きたこと

兄弟ケンカしていても、夫婦ケンカしていても

食事の時は同じ食卓で

同じおかずと一緒に食べたいね

このことって、とても大事よね

私の子供の頃はいつでもそうやっていたよ

でも自分が家庭を持ってからは商売で夕食を一緒にとるのは

お休みの時だけだった

今、考えるともっと一緒に食事をしていたら

よかったと思うことが度々あります。

どううして、そう思うの？

それはね

小さい頃の子供の気持ちを解ってやれてなかった

忙しさと親自体が余裕がなく

子供達の心に入っていけなかった  
だから、後悔してます。  
私の人生で後悔すべき事は  
しっかり子育てができなかった事です。  
今、アメリカに住んでいますが  
この食卓が家族の憩いの場になるように  
食卓に集まりおしゃべりしたり  
人が来てもリビングルームに通さずに  
台所の食卓でお茶を楽しんでいます。  
その方が食卓も喜ぶと思うから  
それは私の心が落ち着からですね  
昔の良き思い出がこもってるからだね  
ありがとう！食卓さん！

## かすかに見える雑草

---

### かすかに見える雑草

私はアメリカのカンザス州に住んでおります。  
前庭も裏庭も広いです。  
芝生を植えてあります。  
春になると週に一度は芝刈りをします。  
私のお目目では刈り取った後がよく見えません  
だから、芝生を少し長く伸ばした方が刈り取ったのがわかります。  
それでもミスがあるので普通の人の方が刈り取るより  
余分に時間を掛けて刈ります。  
芝刈りは色々と工夫をしながら頑張っています。

昨年从那の芝生に雑草が増えだしました。  
私の可愛いお目々ちゃんではその雑草が見えせん  
しゃがんでよく見ると、かすかに雑草とわかります。  
そこで、暑い夏であろうとも  
朝から晩まで3ヶ月掛けて  
西側の庭の雑草を取り除き  
秋に芝生の種を蒔き  
上手いこと新しく生えて来て良かったと喜びました。  
今年はその東側の雑草取りに取り組んでいます。  
犬の散歩で通る人達は  
こんな暑い中でやらなくてもって感じの顔で通ったり  
話しかけたりしてます。  
私も暑いし、虫には刺されて痒いし  
止めようと思うこともあります。  
しかし、ちょっとゴミ出しをした後に  
ちょっと座って草取りをします。  
取り出すと見えないながらもどんどん取り続けているのは  
なぜなのか  
それは、私のお目々ちゃんが  
わずかでも雑草がつけられてる  
それが嬉しいからどんどんやり続けたいのだと  
そうだよ  
まだ、わずかに見えてる事がうれしい

こんな事、周りの人には理解できませんね  
私は新しい解釈ができた今  
自分の不自由さ、乏しい視力が尊いと思いました  
だから、失明しつつある事は  
不安よりも新しい解釈の方がはるか勝っています。  
頑張れ！

」」」

」」

## 足の裏が早い

---

足の裏が早い

何、そのタイトルは？

あら、変ですか？

そうだよ

ならば、説明しますね。

私の下手な下手な話を読んで頂いている方は

ご理解頂けると思いますが

私の可愛いお目々ちゃんは

ほとんど視力を失ってます。

裏庭にある大きなクルミの木からどんどんクルミが落ちて来ます。

それは食べられるほど大きくなる前に

暴風で落ちたり

リス君達がちょこっと食べた後に落ちたり

また、虫が食べた後は落ちやすいのです。

芝生の上に落ちたクルミをそのままにしておいては

芝生が枯れたり

また、歩く時に転んだりするので

拾わなくてははいけません

毎日、20個以上は拾っています。

その時にお目々ちゃんが；かすかに見えると

お手手ちゃんが動いて拾い上げます

しかし、最近ではお目々ちゃんよりも早いものが現れました。

そうです。足の裏ちゃんです。

庭をちょこまか、ちょこまかと動き回って

足の裏を頼りにクルミを拾ってます。

だから、足の裏には歩く以外にはそんなにポイントを置いていませんでした。。

これって失礼ですよ

あまり足裏に感謝していなかった

私のお目々ちゃんが引退しつつある中

足裏様に感謝できたなんて

なんと不思議な気持ち

私達って 色んな事に感謝を忘れてるね

何かが不都合になったこと

壊れたもの、失われたもの、  
失敗したこと などなどって  
マイナスに評価されがちですが  
ある時に立派なプラスに格上げ  
だから、全てプラスってことね  
あら、ま、、なんだか儲かっちゃた感じね  
ありがとう！